

第79期 報告書

2018年4月1日⇒2019年3月31日



「 人 ・ 食 ・ 味 を 豊 に 」

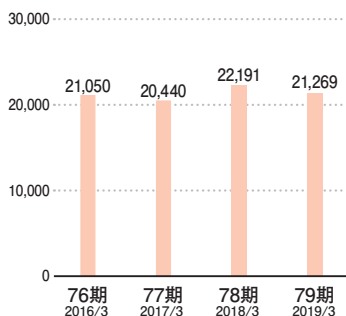
決算 ハイライト

Financial Highlights



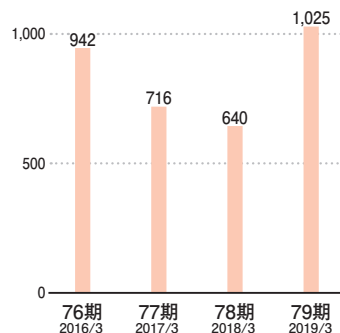
売上高

(単位:百万円)



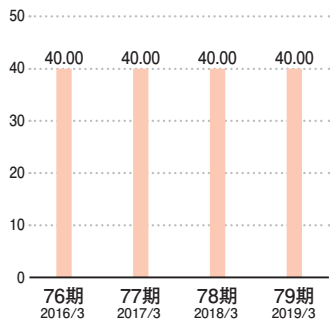
当期純利益

(単位:百万円)



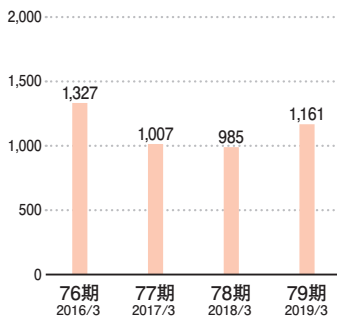
1株当たり配当金

(単位:円)



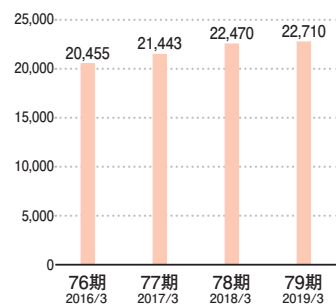
営業利益

(単位:百万円)



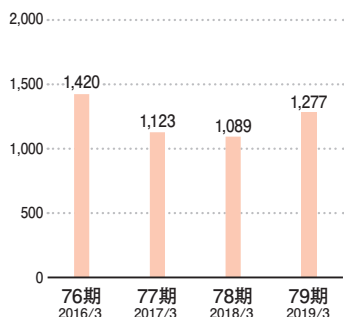
総資産

(単位:百万円)



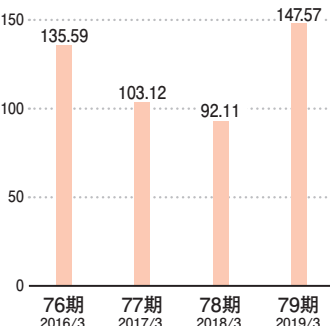
経常利益

(単位:百万円)



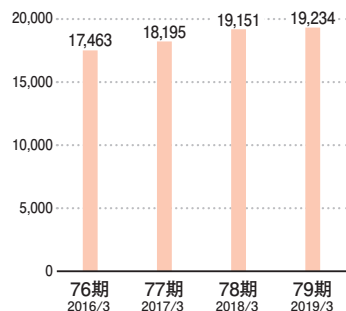
1株当たり当期純利益

(単位:円)



純資産

(単位:百万円)





ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社第79期(2018年4月1日から2019年3月31日まで)の営業の概況と決算につきましてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2019年6月

代表取締役社長 橋本 淳

当事業年度の概況

当事業年度におけるわが国経済は、企業収益及び設備投資には底堅さが見られ、雇用・所得環境の改善傾向が続く中、個人消費は足踏みが見られましたが総じて緩やかな景気回復基調が続きました。しかし、全国各地で記録的な豪雨・猛暑等が少なからず景気に影響を与え、さらに米国の保護主義への傾斜やそれに伴う貿易摩擦の激化へのリスクの高まりと金融資本市場の変動の影響が懸念され、今後の動向は依然として不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、食の安心・安全に対する関心が一層高まるとともに、原材料価格の上昇が依然続く状況にあり厳しい経営環境が継続しております。

このような状況の中で、当社は取引先のニーズを追求した提案型営業を強化し、さらに、既存設備の活用を重点に即席麺部門や粉粒体食品部門では合理化・省力化の推進を図り、経営効率の向上と利益目標の達成に取り組んでまいりました。

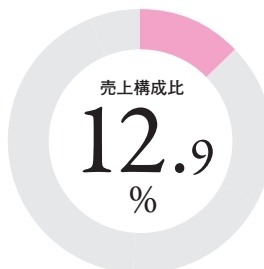
以上の結果、当事業年度の経営成績は、売上高は21,269百万円と前年同期と比べ921百万円(4.2%)の減収となり、営業利益は1,161百万円と前年同期と比べ176百万円(17.9%)、経常利益は1,277百万円と前年同期と比べ188百万円(17.3%)、当期純利益は投資有価証券の一部を売却したことに伴い投資有価証券売却益231百万円を計上したこと等により1,025百万円と前年同期と比べ385百万円(60.2%)の増益となりました。

セグメント別の概要 *Business Segment Overview*

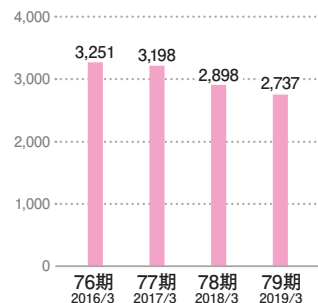


チルド食品部門

チルド食品部門は、受託が低調に推移し、売上高は2,737百万円と前年同期と比べ160百万円(5.5%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は288百万円と前年同期と比べ3百万円(1.4%)の増益となりました。

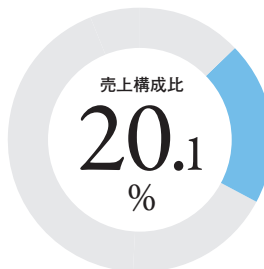


セグメント売上高 (単位:百万円)

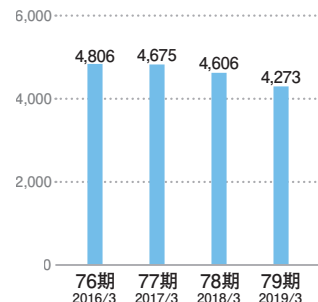


粉粒体食品部門

粉粒体食品部門は、粉末スープの受託が伸び悩み、売上高は4,273百万円と前年同期と比べ333百万円(7.2%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は56百万円と前年同期と比べ25百万円(31.3%)の減益となりました。



セグメント売上高 (単位:百万円)





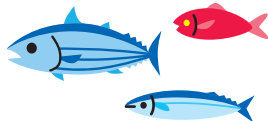
■ 液体調味食品部門

液体調味食品部門は、鰻のシラスの漁獲が細る中、今年は不漁の為、うなぎのたれの市販用・業務用のどちらも売上が減少したことにより、売上高は3,819百万円と前年同期と比べ170百万円(4.3%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は298百万円と前年同期と比べ122百万円(29.1%)の減益となりました。



■ 即席麺部門

即席麺部門は、大型のカップ麺の受託が順調に推移し、売上高は9,141百万円と前年同期と比べ14百万円(0.2%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は494百万円と前年同期と比べ330百万円(200.3%)の増益となりました。

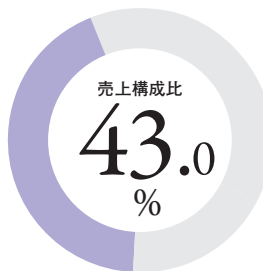
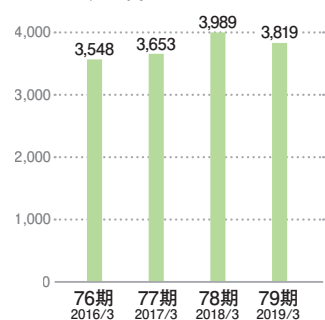


■ その他部門

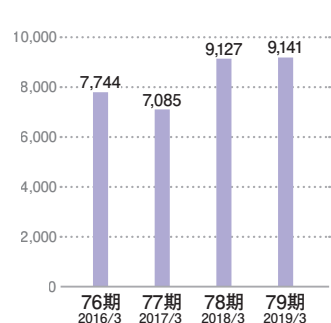
その他は、水産物の取扱いが前年と比べ減少したことに伴い、売上高は1,298百万円と前年同期と比べ271百万円(17.3%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は22百万円と前年同期と比べ8百万円(27.8%)の減益となりました。



セグメント売上高 (単位:百万円)



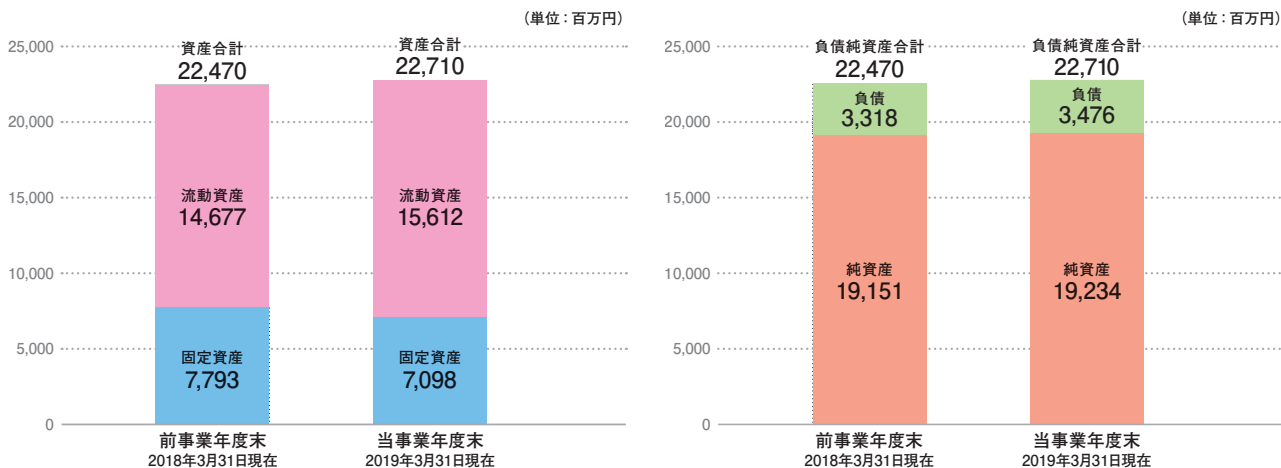
セグメント売上高 (単位:百万円)



セグメント売上高 (単位:百万円)



貸借対照表の概要



当事業年度の財政状態の概況

当事業年度末における資産の部は22,710百万円となり、前事業年度末と比べ240百万円増加しました。これは主に、流動資産において現金及び預金が1,213百万円増加し、売掛金が223百万円減少し、また、固定資産において建設仮勘定が618百万円増加し、投資有価証券が1,059百万円減少したことによるものであります。

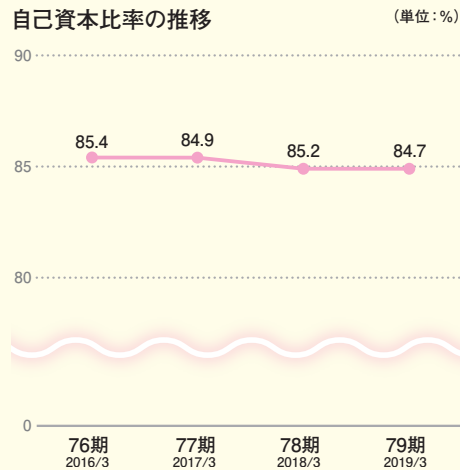
負債の部は3,476百万円となり、前事業年度末と比べ157百万円増加しました。これは主に、流動負債において未払金が323百万円、未払法人税等が169百

万円増加し、買掛金が263百万円減少したことによるものであります。

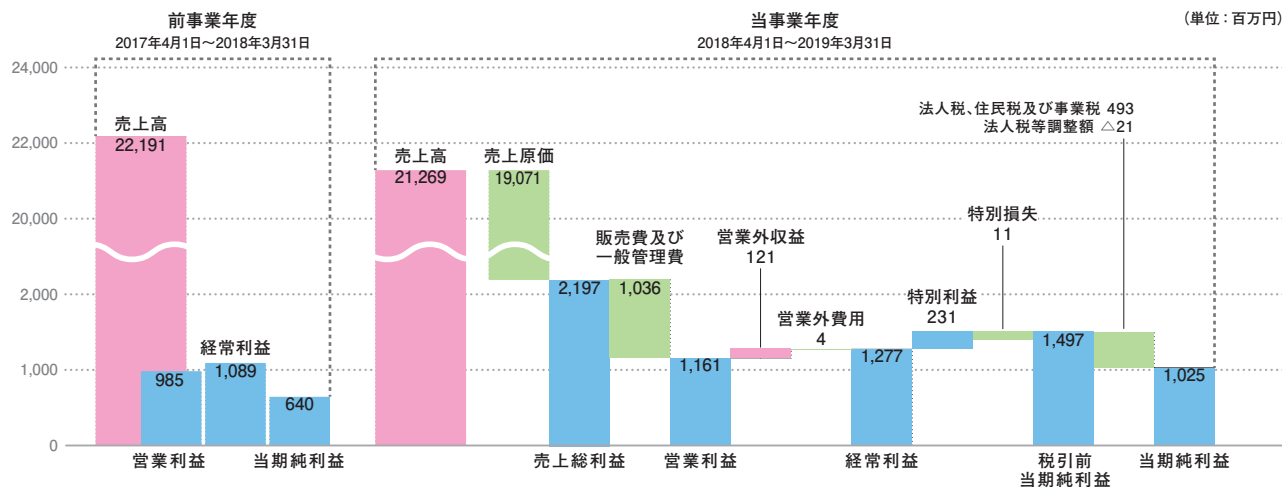
純資産の部は19,234百万円となり、前事業年度末と比べ83百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が747百万円増加し、その他有価証券評価差額金が664百万円減少したことによるものであります。

この結果、当事業年度末の自己資本比率は84.7%（前事業年度末は85.2%）、1株当たり純資産は2,768円21銭（前事業年度末2,756円22銭）となりました。

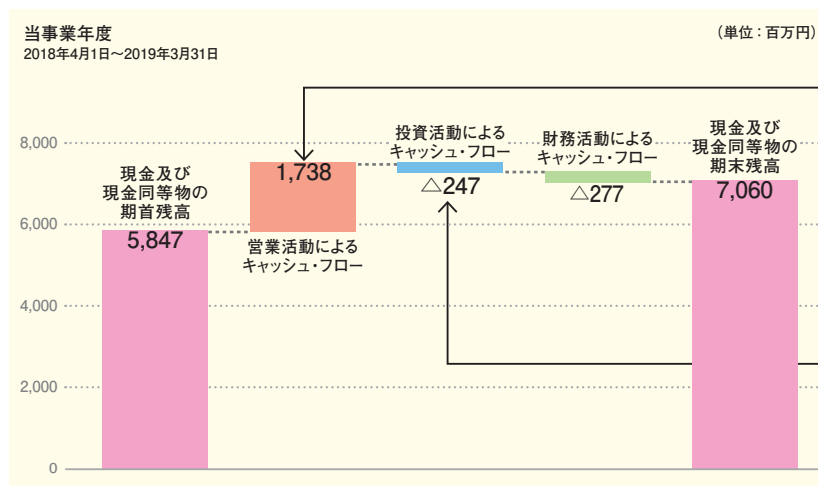
自己資本比率の推移



損益計算書の概要



キャッシュ・フロー計算書の概要



営業活動によるキャッシュ・フロー

当事業年度において営業活動により得られた資金は1,738百万円となり、前年同期と比べ273百万円(18.7%)の増加となりました。主な要因は、税引前当期純利益1,497百万円及び減価償却費596百万円による資金の増加と仕入債務の減少263百万円による資金の減少であります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当事業年度において投資活動の結果使用した資金は247百万円となり、前年同期と比べ1,016百万円(80.4%)の減少となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出577百万円と投資有価証券の売却による収入340百万円であります。

当 社 製 品

おすすめ
レシピ

「だし取り職人」「白だし」を使った レシピの紹介

ユタカフーズオンラインショップアドレス <http://yutakafoods.co.jp/shop/>

1人前…約221kcal

夏野菜と海の幸を食べよう♪

夏野菜のリゾット



具は
小さめにすると
おいしい
ですよ♪

材料(3人前)

ごはん…1.5杯
トマト…2個
なす…1個
ベビー帆立…150g
ピーマン…2個
だし取り職人…1袋
オリーブ油…小さじ1
ケチャップ…大さじ1
スライスチーズ…1枚
パセリ…お好みで

使用商品
焼きあご入
だし取り職人



1 なす、ピーマンを細かく切り、鍋にオリーブ油を引いて火が通るまで炒めます。



2 「だし取り職人」とぶつ切りにしたトマト、水250ccを加えて10分ほど煮込みます。



3 ご飯1.5杯分と、ケチャップ、ホタテ、スライスチーズを加えさらに10分煮込んだら完成です。



1人前…約72kcal

揉みこんで漬けるだけ♪

簡単白だしの酢の物



箸休めに
おすすめ!
おだしがきいた
酢の物

材料(3人前)

たこ…160g程度
きゅうり…1本
乾燥わかめ…4g程度
酢…大さじ4
白だし…大さじ2

使用商品
白だし



1 まず具材を適当な大きさに切り、お酢と「白だし」を加えます。



2 ボールかポリ袋の中に[1]を入れてよく揉みこみ、冷蔵庫で1時間以上寝かせます。



3 よく絞って、汁気をとってできあがりです。



(2019年3月31日現在)

当社の概要

創 立	1944年10月21日
資 本 金	1,160百万円
本 社	〒470-2395 愛知県知多郡武豊町字川脇34番地の1
電 話	0569-72-1231(代表)
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市販用及び業務用の液体調味食品及び粉粒体食品等の製造販売 ・マルちゃん製品の液体調味食品、粉粒体食品、チルド食品及び即席麺等の受託製造

役員

(2019年6月26日現在)

代表取締役社長	橋本 淳
代表取締役常務	香川 崇弘
取 締 役	牧 清忠
取 締 役	大茂 為継
取 締 役	中村 好伸
常 勤 監 査 役	奥田 裕治
監 査 役	津田 明人
監 査 役	石川 吏志

事業所・工場



鳥取営業所／鳥取工場



本社／本社工場

● ユタカフーズの最新情報は
ホームページをご覧ください。

<http://www.yutakafoods.co.jp>

ユタカフーズ

検索

株式情報

Stock Information

(2019年3月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	35,000,000株
発行済株式の総数(自己株式1,883,866株を除く)	6,948,445株
株主数	2,311名
単元株式数	100株

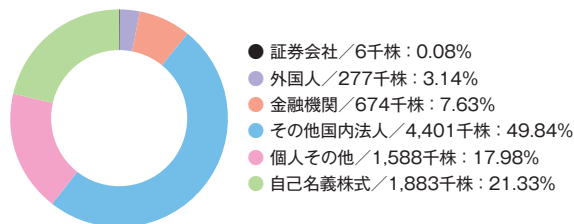
大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
東洋水産株式会社	3,533	50.85
MSIP CLIENT SECURITIES	263	3.78
株式会社榎本武平商店	210	3.02
ユタカフーズ従業員持株会	200	2.89
株式会社三菱UFJ銀行	101	1.46
株式会社三井住友銀行	101	1.45
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	93	1.33
株式会社愛知銀行	85	1.22
大樹生命保険株式会社	80	1.15
焼津水産化学工業株式会社	76	1.09

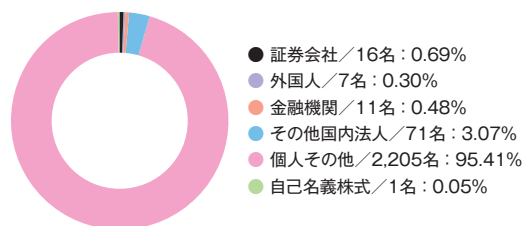
(注)1.持株比率は自己株式(1,883,866株)を控除して計算しております。
2.大樹生命保険株式会社は、2019年4月1日付けで三井生命保険株式会社から社名変更しております。

株式の分布

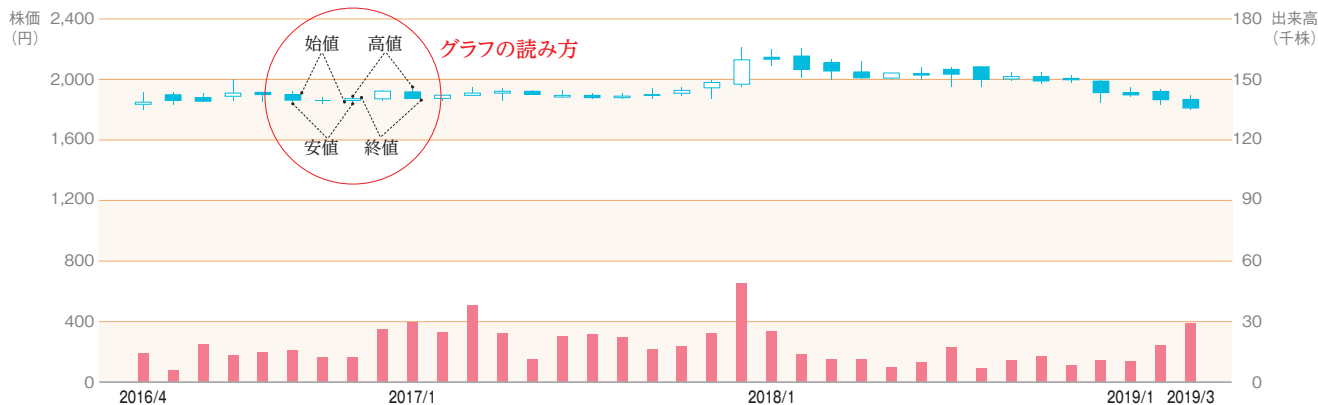
[所有者別株式分布]



[株主構成]



株価・出来高の推移



株主優待のご案内

毎年3月末日現在の株主名簿に記載された100株以上所有の株主様へ、株主優待として自社製品を贈呈しております。

100株以上500株未満所有の株主様

800円相当の自社製品

500株以上1,000株未満所有の株主様

1,500円相当の自社製品

1,000株以上3,000株未満所有の株主様

2,500円相当の自社製品

3,000株以上所有の株主様

4,000円相当の自社製品

株主優待品例



株式に関する手続き等について

お手続き	お問い合わせ先	
	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
株主名簿記載事項の変更 商号・氏名、住所、代理人選任、変更など	口座を開設した証券会社にお問い合わせください。	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話：0120-782-031(フリーダイヤル)
単元未満株式の買取請求 その他お手続きに関する事項		
未払い配当金	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話：0120-782-031(フリーダイヤル)	

株式に関するお知らせ

《単元未満株式の買取について》

単元未満株式(100株に満たない株式)の買取を請求することができます。

当社では単元未満株式を買い取らせていただく「買取制度」をご利用いただけます。



《配当金計算書について》

配当金支払の際に送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当支払の都度「配当金計算書」を同封させていただきます。

確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

株主メモ *Stock Memo*

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
[基準日] 定時株主総会・期末配当 中間配当	毎年3月31日 毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先（電話照会先）	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031（フリーダイヤル） 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店 および全国各支店で行っております。



お問い合わせ先

〒470-2395 愛知県知多郡武豊町字川脇 34 番地の 1
ユタカフーズ株式会社／業務部総務経理課 TEL:0569-72-1231(代表)

